

発行所 株式会社FPシミュレーション 大阪府中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678
編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

◇ 平成13年度法人税の調査事績

Q : 法人税調査の結果が公表されたそうですが、どのような内容になっていますか。

A : 不況のため依然として赤字申告法人が目立ちます。不正発見割合の高い業種も様変わりしています。

【解説】

国税庁が公表した平成13事務年度の法人税調査事績によると、不正1件当たりの脱漏所得金額が1,466万円と過去最高を記録しています。これは、経費削減などで調査の件数は減ったものの、不正計算が予想されるなど調査必要度の高い法人に集中して実地調査を行ったため、脱漏所得金額が増加したからです。

業種別に見ると、不正発見割合の高い業種ワースト3は「パチンコ」「バー・クラブ」「廃棄物処理」の順で、10年以上ワースト1位に君臨していた「バー・クラブ」に代わり、「パチンコ」が初めて1位となっています。また、かつてはワースト3にあげられていた「大衆酒場・小料理」が10位以内から姿を消しています。

近年、景気の低迷から企業の所得は年々減少し、申告のあった271万5千社のうち黒字法人は30.9%と、平成11事務年度の30.7%に次ぐ低い数字となっています。

一方、この不景気を利用して、黒字でありながら赤字申告を行う企業も後を絶たず、調査した法人のうち6件に1件が、黒字だったにもかかわらず赤字に偽装して申告していたということです。

